



夏休み中の活動 (その1)



夏休みは課題研究に取り組む生徒にとって、研究を深める絶好の機会でした。多くのコンクールも実施され、国分高校生も探究活動や大会出場、他校との交流と、充実した時間を過ごしました。

1 全国高等学校総合文化祭

7月27～29日に佐賀市で行われた全国高等学校総合文化祭の自然科学部門に、本校サイエンス部の物理班、生物班、地学班が出場し、これまでの研究成果を発表しました。

部門	国分高校研究発表題目
物理班	グリーンフラッシュの謎にせまる
生物班	ヤクシマエゾゼミはなぜそこにいるのか
地学班	別府川河川敷で見つかった貝化石層の堆積環境を探る

研究が進むにつれて内容も深まり、プレゼンにも自信が付いてきた様子でした。また、各県代表校との交流を通して、新たな発想や視野の拡大に繋げる良い機会になったものと思います。

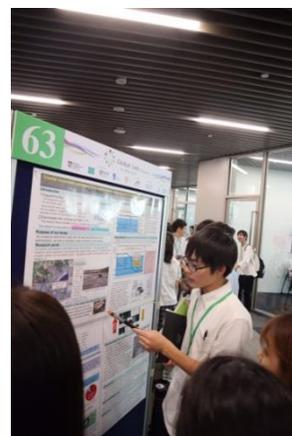


物理班(上)、生物班(下)の発表



2 Global Link Singapore 2019

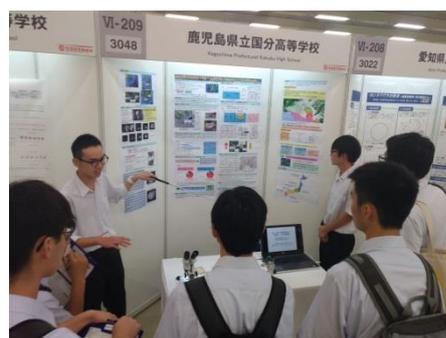
7月26日～29日にシンガポール南洋工科大学で開催された「Global Link Singapore 2019」に、地学班を代表して3年生の平田健晃君が参加しました。英語による資料作成やプレゼンの準備を万端に整えて国際舞台に臨み、今後の研究活動に繋がる貴重な経験をしました。これからの更なる飛躍を期待します。また、平田君は、8月10日に地元霧島市で行われた国分高校同窓会総会の場でも発表を行いました。初めて聴く高校生の研究発表と後輩の堂々とした態度に、居並ぶ先輩方のあちこちから感嘆の声があがりました。



英語で発表する平田君

3 SSH 生徒研究発表大会

8月7・8日に神戸市で行われた令和年度SSH生徒研究発表会で、国分高校を代表してサイエンス地学班の平田健晃君と藤田颯太君が発表を行いました。昨年度文部科学大臣表彰を獲得した生物班の先輩に続くことをめざしましたが、残念ながら入賞は果たせませんでした。しかし、2日間にわたるポスター発表の間、国分高校のブースには多くの方々が絶えることがなく、その中で一生懸命プレゼンをしたことは、大変貴重な経験になったと思います。また、司会を担当した放送部の坂元遙さん、尾崎萌香さん、野間早紀さんは、大きなプレッシャーの中、見事に任務を果たし、大会の円滑な運営に貢献しました。ご苦労様でした。



ポスター発表の様子